

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 精巣内精子採取術（TESE）由来の細胞群からの円形精子細胞同定アルゴリズムの開発
	●研究の対象 2007年4月から2027年3月までの期間に浜松医科大学または俵IVFクリニックにてTESEを実施された方
	●研究の目的 男性不妊症患者の2割は非閉塞性無精子症と診断されますが、このうち半数程度は精巣からも精子が得られず、一般的には不妊治療の継続は不可能となります。しかし、近年は1倍体の円形精子細胞が組織中に存在していれば、この細胞を治療に用いることが可能な場合があります。問題は上述のように光学顕微鏡の最大倍率や分解能の限界により、円形精子細胞と2倍体の他の精子前駆細胞を判別することは難しいことです。そこで、本検討では当該電子顕微鏡解析技術を用いて、画像診断によりこれらを区別するアルゴリズムを開発することを目指しています。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2027年3月まで
	●他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は、記憶媒体（DVDなど）に保存し、提供機関の研究者に直接渡します。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。特定の個人を照合するための情報は、研究責任者・研究分担者または提供元機関の責任者が保管・管理します。
≪利用し、又	●研究に使用する試料・情報

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>は提供する試料・情報の項目》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究対象者背景：年齢など ・ 身体所見：BMI など ・ 臨床検査：精液所見、TESE の結果、TESE 由来の精子を用いた顕微授精における受精結果、染色体検査の結果 ・ 試料：TESE-ICSI で使用した残余検体および TESE 組織の破棄検体
<p>《利用する者の範囲》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●機関名および責任者名 浜松医科大学 宗修平 ●既存試料・情報の提供のみを行う者 俵 IVF クリニック 俵史子
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学 生殖周産期医学講座 宗修平</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にごその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

「問い合わせ先」	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 生殖周産期医学講座 担当者： 宗修平 TEL： 053-435-2425 E-mail： so@hama-med.ac.jp
----------	--